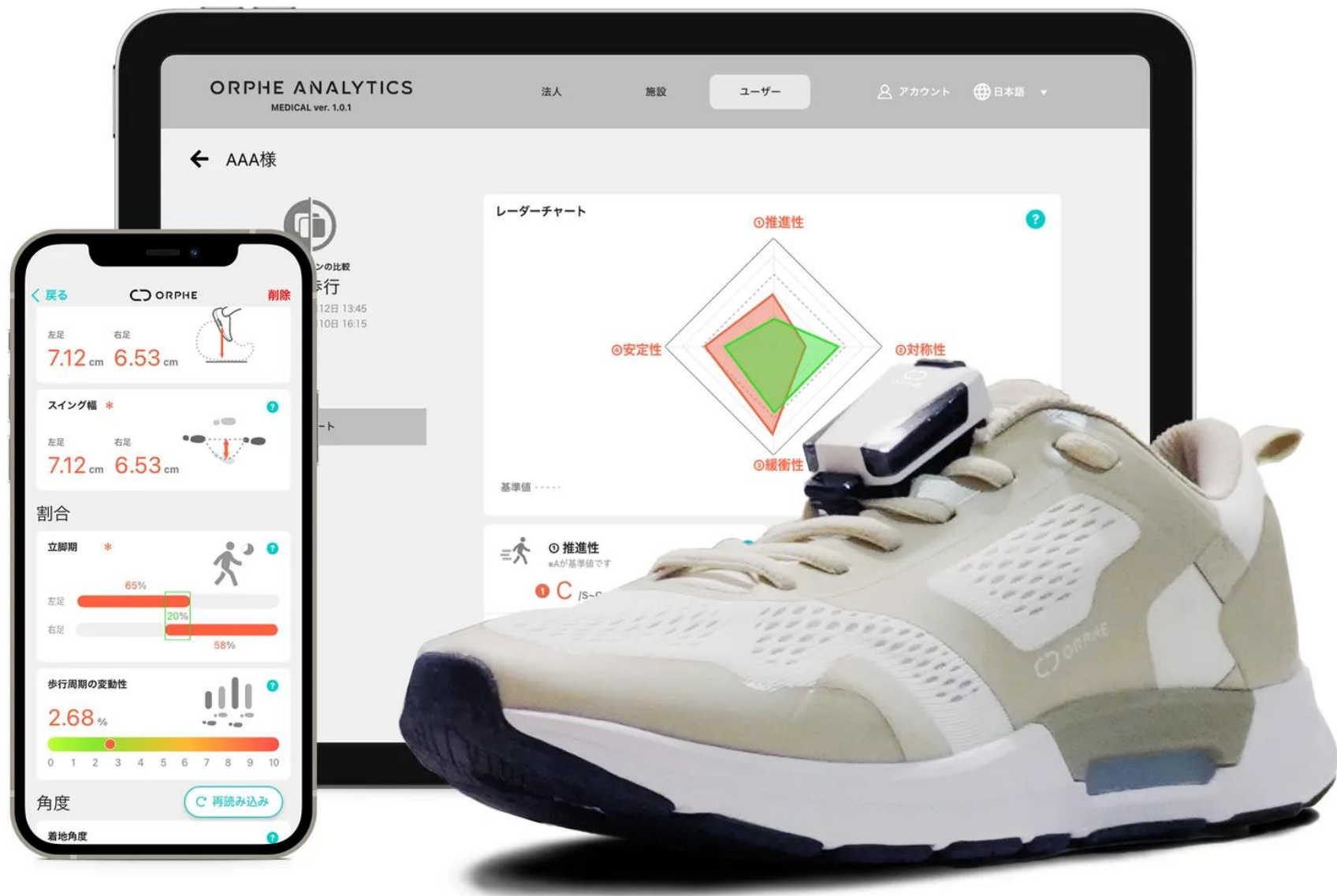


CD ORPHE



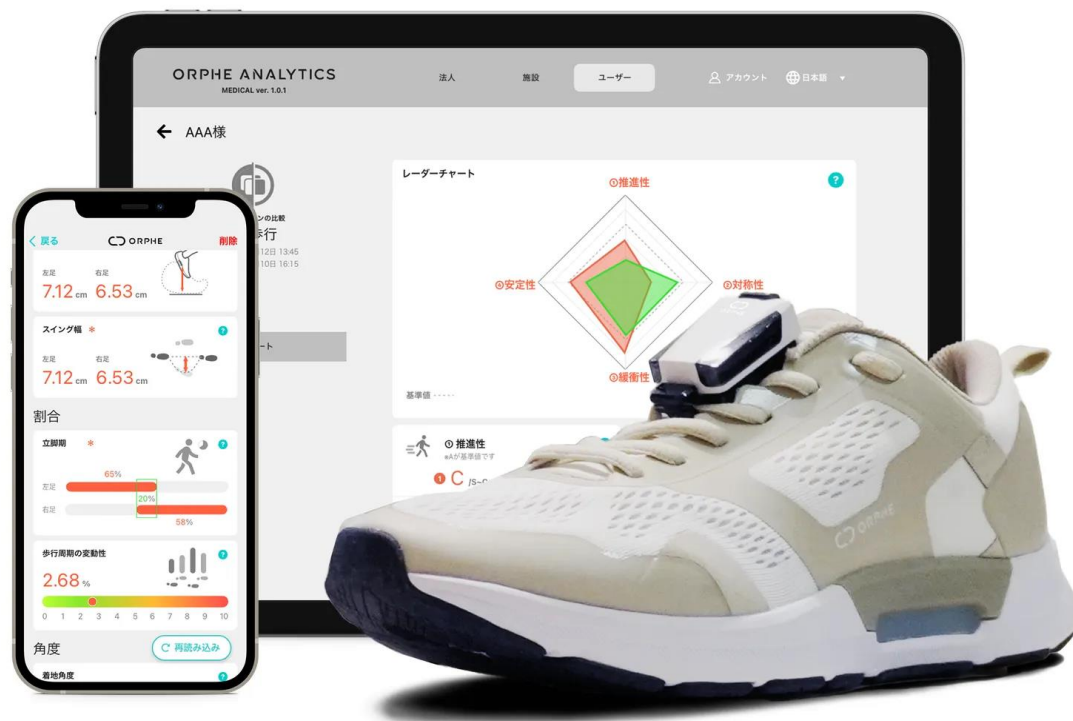


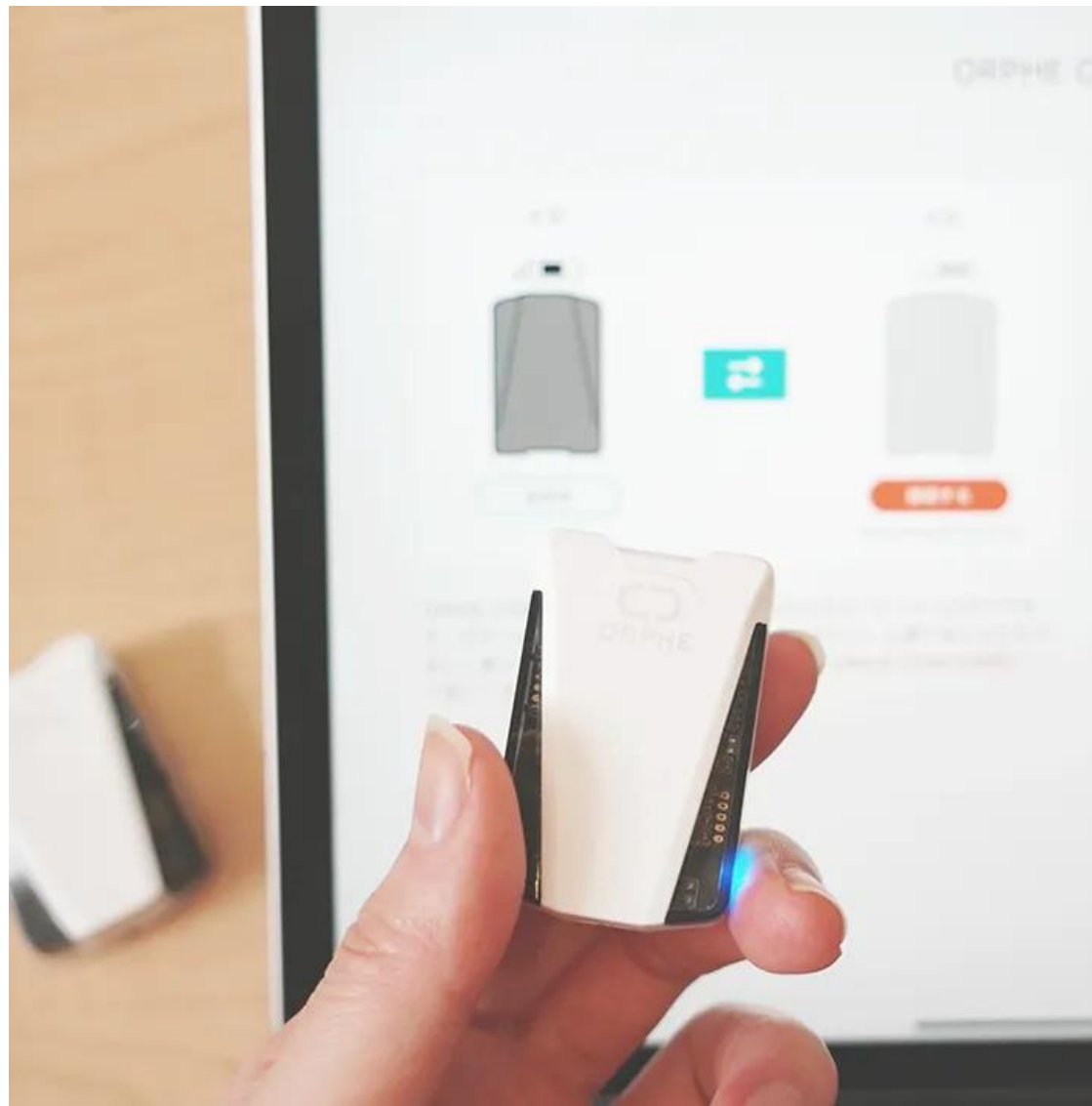


ORPHE ANALYTICS MEDICAL

オルフェ アナリティクス メディカル









ORPHE ANALYTICS
計測レポート

氏名
無題名

Orphe ユーザーID: 計測日
Orphe 施設 計測日時: 10月10日

今までの評価の推移

計測と評価の推移です。
右のグラフは、今までの各評価の推移
を示します。



今回の結果

計測項目・評価		計測内容
☒ 歩行速度	A+	歩行速度 1.30 m/s
☒ 歩行リズム	A+	歩行リズム 1.30 m/s
☒ 歩行バランス	A+	歩行バランス 1.30 m/s
☒ 歩行安定性	A+	歩行安定性 1.30 m/s



ORPHE

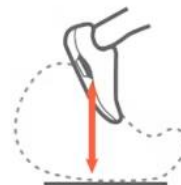
取得データ



歩行速度



歩幅



足の高さ



スイング幅



足向角



着地角度



離地角度



プロネーション



着地衝撃



歩行周期の変動性



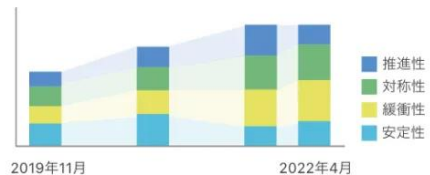
単脚支持時間の比



立脚期/遊脚期

今までの評価の推移

計測お疲れ様です。右のグラフは今までの各評価の推移を示しています。

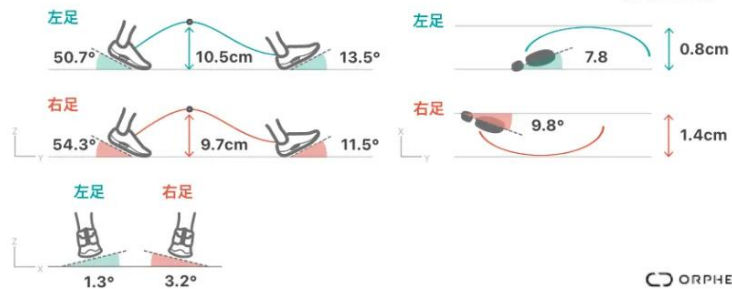


今回の結果

計測項目・評価		計測内容
☐ ① 推進性 B	 左足 48.6 % 右足 51.4 %	歩行速度 遅い  速い 0.80 m/s
☐ ② 対称性 B		荷重バランス 非対称  対称 1.10
☐ ③ 緩衝性 A		着地衝撃 強い  弱い 46.8m/s ²
☐ ④ 安定性 A		歩行リズム 不安定  安定 3.8%

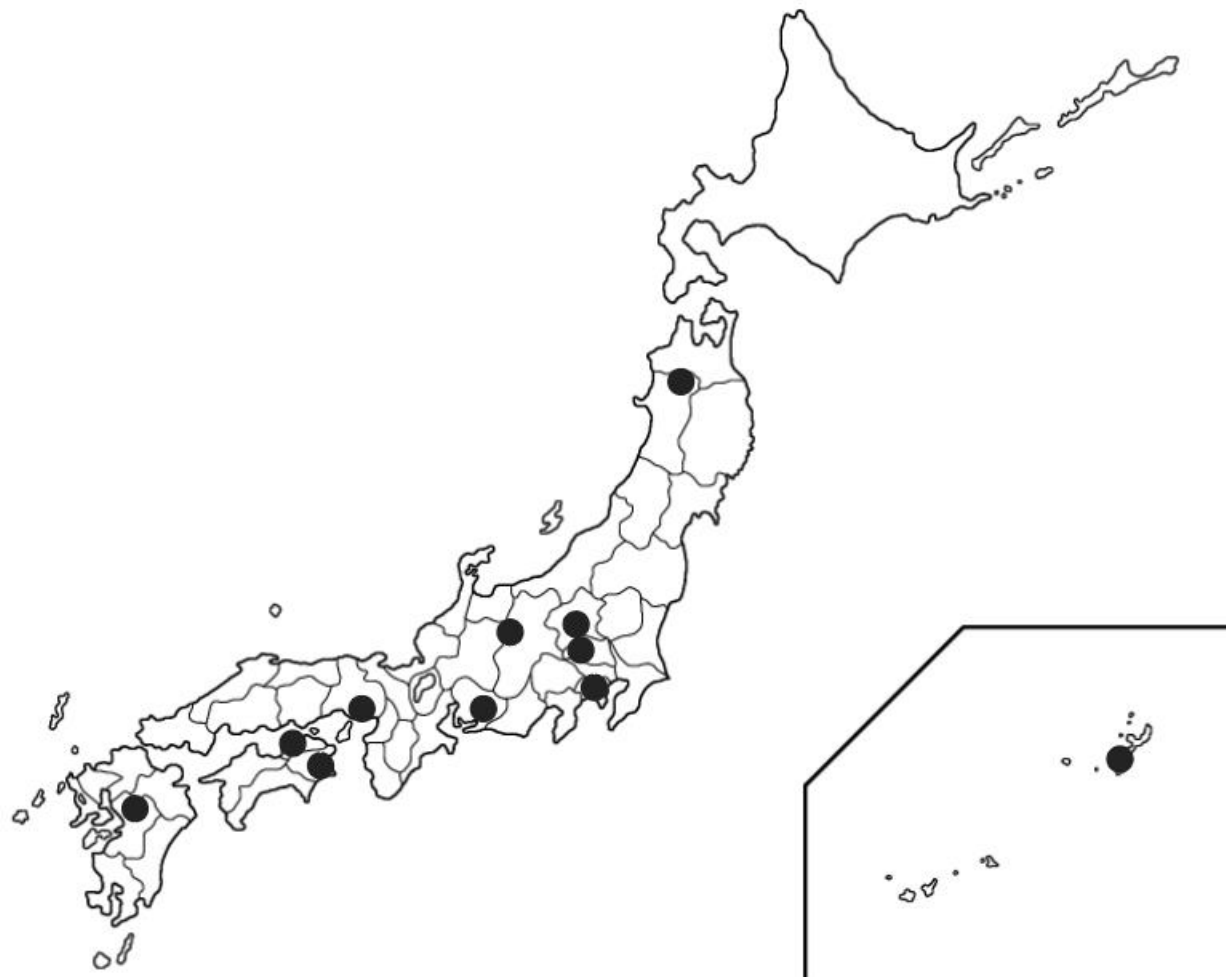
※Aが基準値です

※Aが基準値です



導入施設様（一部抜粋）

- 三宅リハビリテーション病院 - 香川県高松市
- トヨタ記念病院 - 愛知県豊田市
- 本山リハビリテーション病院 - 兵庫県神戸市
- まつだ整形外科クリニック - 埼玉県熊谷市
- 桐生整形外科病院 - 群馬県桐生市
- 戸塚共立リハビリテーション病院 - 神奈川県横浜市
- 信州大学医学部附属病院 - 長野県松本市
- バークレー整形外科スポーツクリニック - 沖縄県浦添市
- 医療法人白鳳会 - 秋田県大館市
- 熊本リハビリテーション病院 - 熊本県菊池郡
- 徳島大学運動機能外科学教室（整形外科） - 徳島県徳島市



活用事例 1

桐生整形外科病院 様

- 変形性股関節症、変形性膝関節症、半月板損傷、変形性足関節、足底腱膜炎、腰部脊柱管狭窄症等
- 術前術後の歩容の変化や改善点、歩行時の左右差を視覚的に把握しやすくなる



術前術後の歩容変化の可視化、現在月間100件以上の計測

活用事例 2

戸塚共立リハビリテーション病院 様

- 足部の障害（外反母趾、変形性膝関節症など）に対する足底挿板治療
- 数値に基づく目標設定を支援し、患者のモチベーション向上



足底挿板の調整前後での歩容の変化を視覚的に表示

活用事例 3

徳島大学運動機能外科学教室 様

- 脊椎疾患、スポーツ医学、関節疾患、腫瘍、小児整形外科、リハビリテーション
- 歩行解析データを用いて、患者にその場で具体的な説明



解析症例数を増やし、個々の症例へのフィードバックや新たな知見の発見に繋げる

歩く「質」を高めて、
心と身体を健康に。



自分の「歩行の癖」を知る

着地角度や歩幅の癖など



歩き方の癖を理解し改善することで
年齢を重ねても健康的な歩行の維持が可能に

20～30代のうちに自分の歩き方の癖を知り
適切なトレーニングをおこなうことが重要

歩く姿勢と心身の状態

気持ちが沈んでいるとき



無意識に前かがみの姿勢
すり足になりやすい

楽しい気分するとき



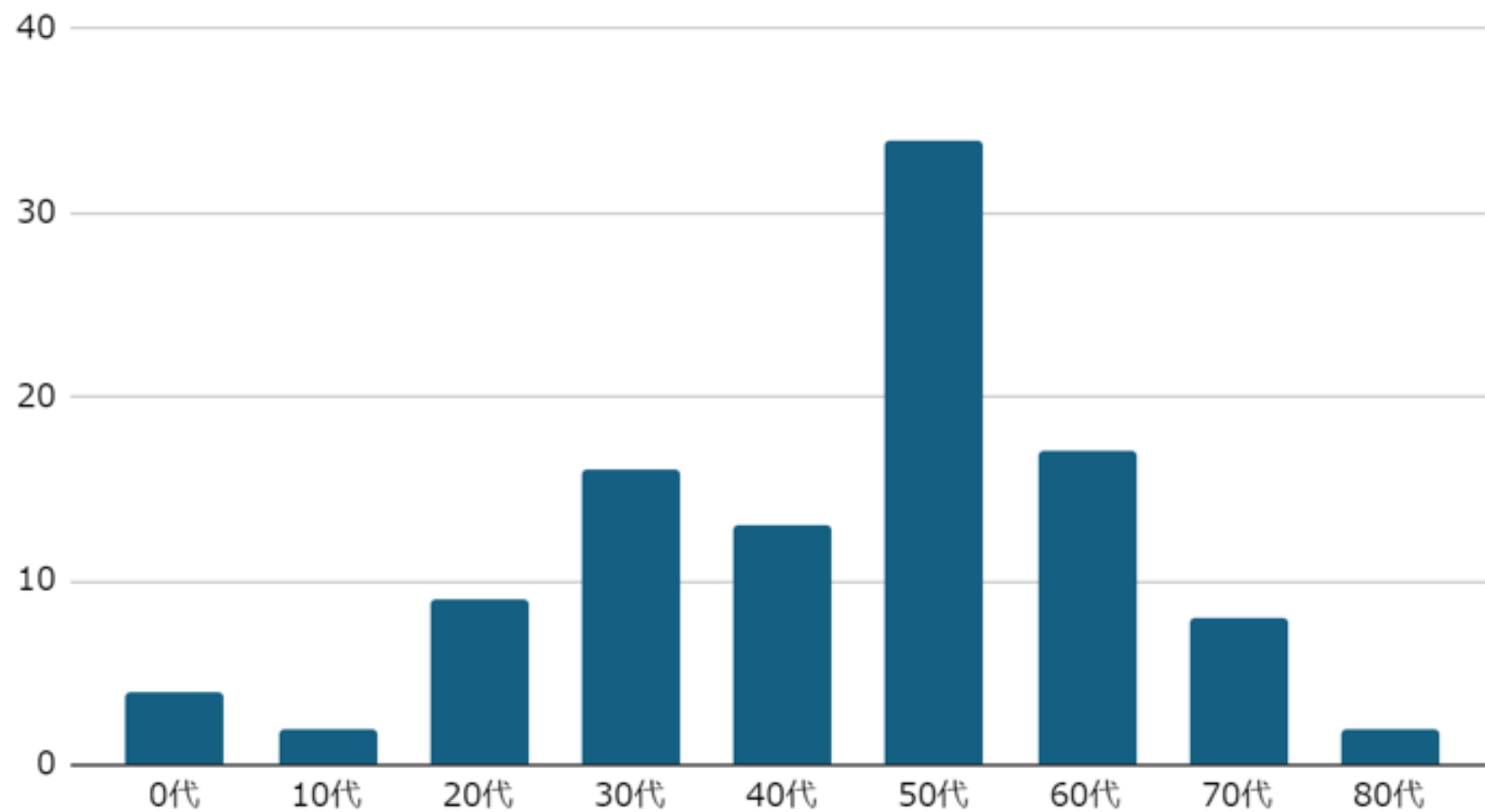
スキップをする

身体の動きを変えることで心の状態を整える

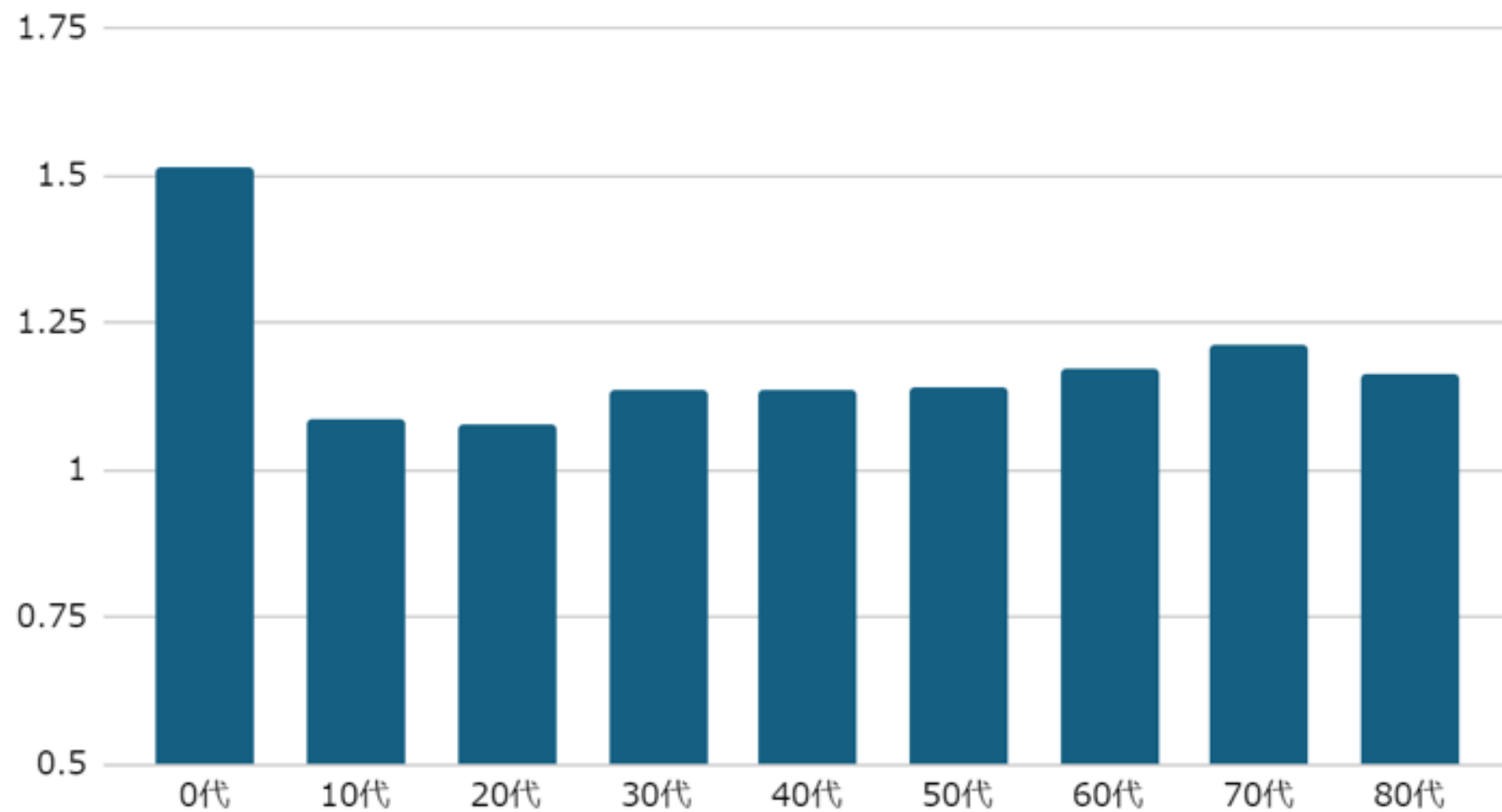
計測会の実施（某ショッピングモール等で随時開催中 100名/日 規模）



イベント参加者の年齢層



年代ごとの荷重バランス（単脚支持時間の左右比）の推移



今後の展望

NEDO「SBIR推進プログラム」

フェーズ2：スマートシューズを起点とした“転倒予防・健康寿命延伸サービスの研究開発”

- 転倒リスクの可視化
- 転倒予防運動プログラムの開発
- 2026年に100名規模の実証実験開始予定





ORPHE